

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間 : 令和5年10月 ~ 令和6年9月



発行日 : 令和 6年 10月 16日

株式会社 翔峰建設

目 次

環 境 経 営 方 針		P1
組 織 の 概 要		P2
EA21 実 施 体 制		P3
環 境 経 営 目 標		P4
環 境 経 営 計 画		P5
環境経営目標の実績評価と今後の活動		P6
環境経営計画の取組と評価		P7～P9
環境関連法規の遵守状況並びに違反訴訟の有無		P10
代表者による全体評価と見直しの結果		P11

環 境 方 針

《基本理念》

翔峰建設は「お客様と地域の皆さんに愛され、社員が幸せと生き甲斐を感じられる会社を目指す」を経営理念として、創業以来建設工事に携わり、良質な土木構造物を提供して、社会資本の整備に貢献してきました。しかしその反面、事業活動の過程において自然の改変、資質・エネルギーの消費、廃棄物の発生等、地球環境に様々な影響を与えていることも事実です。

これを真摯に受け止め当社は、全ての事業活動を通して「地球に優しい翔峰建設」をモットーに「環境の保全と創造」に努め良き企業市民として社会や地域への責務を果たして継続的改善に努めてまいります。

《環境行動指針》

1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - ①電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する
 - ②使用原材料の省資源の、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)を推進する
 - ③水資源を大切にするため節水に努める
 - ④原材料及び事務用品のグリーン製品の購入に努める
 - ⑤環境に配慮した機械を使用する
 - ⑥事業所周辺の清掃活動を推進する
 - ⑦環境関連法や当社が約束したことを厳守します

制定日：平成 29年 9月 28日

株式会社 翔峰建設

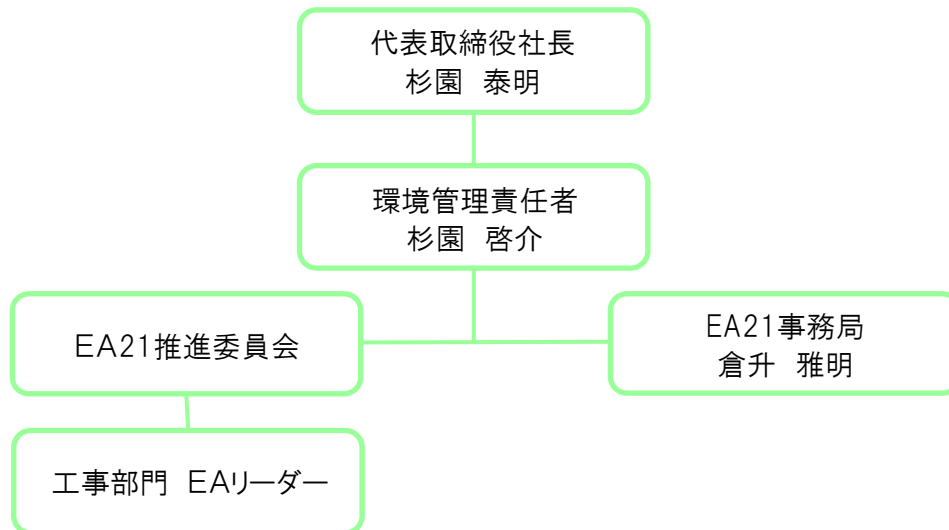
代表取締役

杉園 泰明

組 織 の 概 要

- ① 名称及び代表者名 株式会社 翔峰建設
代表取締役 杉園泰明
- ② 所在地 本 社
〒871-0112
大分県中津市三光臼木339番地
- ③ 環境管理責任者及び
担当者氏名並びに連絡先 環境管理責任者 杉園 啓介
TEL 0979-26-5858
FAX 0979-26-5840
E-mail shoho-koji@nk.oct-ne.jp
- ④ 事業内容 大分県知事 許可（特-3）第 8571号
土木工事業 とび・土工工事業
石工事業 鋼造物工事業
ほ装工事業 しゅんせつ工事業
塗装工事業 造園工事業
水道施設工事業
- 大分県知事 許可（般-3）第 8571号
建築工事業 管工事業
- ⑤ 事業規模
- | | 単位 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|--------|-----|------|------|------|
| 工事件数 | 件 | 26 | 24 | 22 |
| 売上高 | 百万円 | 368 | 241 | 264 |
| 従業員数 | 人 | 10 | 10 | 9 |
| 事業所床面積 | m2 | 55 | 55 | 55 |
- ⑥ 会計年度
(環境年度) 10月 ～ 次年度9月
- ⑥ 対象事業所 株式会社 翔峰建設 本社・倉庫・資材置場
- ⑦ 対象事業活動 全組織・土木建設工事

EA21 実 施 体 制



	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表取締役社長	環境経営に関する統括責任者 環境経営の実施に必要なインフラの整備 環境管理責任者の任命 環境方針の制定、見直し及び全社員への周知 環境目標・環境活動計画書を承認 全体の評価と見直しを実施する 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施及び運用管理 環境活動の取組結果を代表者へ報告 EA21推進委員会の責任者 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動レポートの確認 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 問題点の是正及び予防処置の承認
EA21事務局	環境管理責任者の補佐 環境目標・環境活動計画書の作成 環境関連法規等取りまとめ及び厳守状況の確認 環境活動レポートの作成、公表 各種データの取りまとめ、取組のチェック 各種文書・記録の作成管理 外部とのコミュニケーションの窓口
EA21推進委員会	環境目標、環境活動計画の実行状況を審議する 環境活動に関する意見交換 開催頻度(3ヶ月に1回)
EA リーダー	工事部門における環境方針の周知 工事部門に関する環境活動計画の立案・実施及び達成状況の報告 工事部門の問題点の把握と是正処置の実施
全従業員	環境方針の理解と環境活動への自主的、積極的な参加 関連法規、規則の遵守

環 境 経 営 目 標

環境目標		単位	基準年度 R5年度実績 R.4.10～R.5.9	令和6年度 目標	令和7年度 目標	令和8年度 目標
1	二酸化炭素排出量の削減(削減率)	kg-CO2	190,911	187,093 (-2%)	185,184 (-3%)	183,275 (-4%)
1-1	電力消費量の削減	kWh	8,015	7,855 -2%	7,619 -3%	7,694 -4%
1-2	ガソリン消費量の削減	ℓ	12,910	12,652 -2%	12,272 -3%	12,394 -4%
1-3	軽油消費量の削減	ℓ	59,176	57,992 -2%	57,401 -3%	56,809 -4%
2	廃棄物排出量の削減	t	126	123 -2%	122 -3%	121 -4%
2-1	産業廃棄物リサイクル率 100%維持	%	100	100	100	100
3	水使用量の削減(※1)	%	節水できた	節水できた	節水できた	節水できた
4	環境に配慮した機械の使用	%	100	100	100	100
5	グリーン製品購入の推進	品目	3	3	3	3
6	社会貢献・清掃活動の実施	回	2	2回以上	2回以上	2回以上

二酸化炭素排出量の購入電力排出係数は九州電力令和5年度の調整後(0.406kg-CO2/kwh)を用いた。

※1事務所は井戸掘りボーリングにて地下水を使用。

※2化学物質については、事業活動での実績がない為、目標から除外している。

環 境 経 営 計 画

目 標 課 題		具体的な行動（活動）	対象部門
1	二酸化炭素排出量削減		
1-1	電力消費量削減	1. 昼休みの消灯	全部門
		2. エアコンの温度設定	
		3. 照明をこまめにON・OFF	
		5. 省電力製品の購入(更新時)	
		6. 太陽光発電の導入(将来)	
1-2	ガソリン消費量削減	1. 乗車前の点検(タイヤ空気圧など)	運転者
		2. 水・オイルの点検	
		3. アイドリングストップ	
		4. 近い距離なら歩く	
1-3	軽油消費量削減	1. 乗車前の点検(タイヤ空気圧など)	運転者
		2. 水・オイルの点検	
		3. アイドリングストップ	
		4. 建設機械の過負荷防止(アクセル7割稼働指示)	
2	廃棄物排出量削減	1. ゴミの分別(現場でも)実施	全部門
		2. マニフェストにて適正に管理を行う	
		3. コピー用紙の両面使用	事務部門
3	水使用量削減	1. 水道蛇口付近に節水を促すシールをはり	全部門
		従業員へ節水の意識をもたせる。	
4	社会貢献への参加	1. 地域活動に自主的に参加する	全部門
		2. 現場周辺の清掃活動を行う	
5	グリーン購入の推進	1. 再生資材を使用する(砕石等)	全部門
		2. 再生資材で作られた製品の優先利用	
6	環境配慮した機械の使用	1. 排ガス適合基準の建設機械を使用する	工事部門
		2. NETIS適合機械の使用	

環境経営目標の実績評価と今後の活動

期間： 令和5年 10月～ 令和6年 9月

項目	基準年実績値	目標値	実績値	達成度
1. 合計CO2排出量 (kg-CO2)	190911	183275	144345.2	127%
電気使用量 (kWh)	8015	7694	8387	92%
ガソリン使用量 (ℓ)	12910	12394	12286	101%
軽油使用量 (ℓ)	59176	56809	42096	135%
(評価と今後の取組内容) 二酸化炭素排出量は、ガソリンなどの使用量が削減できたため、目標値を達成できた。 電気使用量は改善の成果が見られず温暖化や物価の上昇に伴い電気の使用量は増加し目標値を達成できなかった。 今後、更なる物価上昇等の増加要因が考えられるので、問題点の改善や従業員の意見を聞き、意識の向上を図り目標値の達成に努める				
2. 廃棄物 (t)	126	123	217	57%
(評価と今後の取組内容) 公共工事の工種内容により廃棄物量が大幅に増加し目標値を達成できなかった。 処理品目に対しては適切な処理が出来た為、産業廃棄物リサイクル率100%維持ができた。 これからの工事内容により、大幅に増加、減少する事も考えられる為、今後も引き続き適切な処理を行い目標値を達成できるように努める。				
2-1. 廃棄物リサイクル率(%)	100	100	100	100%
(評価と今後の取組内容) 適切な処理を実施できた。				
3. 水使用量 (ℓ)	節水	節水	節水	達成できた
(評価と今後の取組内容) 井戸堀ボーリングを使用している為、節水推進を維持できた。				
4. グリーン購入 (回)	3	3	3	100%
(評価と今後の取組内容) 今後も積極的に、リサイクル製品や詰め替え製品を優先して購入する。				
5. 環境配慮した重機・材料の使用及び施工 (%)	100	100	100	100%
(評価と今後の取組内容) 使用重機は、すべて低燃費・低騒音型・低振動型の機械を使用し取り組むことが出来た。 引き続き排ガス適合基準の建設機械の使用を推進し、運転手の意識向上を図る。				
6. 社会貢献への参加 (回)	2	2回以上	4	100%
(評価と今後の取組内容) 全員が高い意識をもって清掃活動に取り組む事が出来た。 今後も積極的に活動していく。				

環境経営計画の取組と評価

期間：令和5年 10月～ 令和6年 9月

取 組 計 画	責任者	判 定	評 価
電力消費量削減			
1. 昼休みの消灯	坪根	◎	・エアコンの設定温度、照明の不必要時の消灯は実行できた。
2. エアコンの温度設定		○	
3. 照明をこまめにON・OFF		○	
5. 省電力製品の購入		△	・太陽光発電の導入(将来)は今後の検討課題。
6. 太陽光発電の導入		-	
ガソリン消費量削減			
1. 乗車前の点検(タイヤ空気圧など)	字室	○	・タイヤ空気圧チェック、水・オイルの点検を引続き徹底する。 ・エコ運転等の取組みを強化していく。
2. 水・オイルの点検		○	
3. アイドリングストップ		△	
4. 近い距離なら歩く		△	
軽油消費量削減			
1. 乗車前の点検(タイヤ空気圧など)	黒土	○	・タイヤ空気圧チェック、水・オイルの点検を引き続き徹底する。 ・建設機械の過負荷防止の徹底を強化していく。
2. 水・オイルの点検		○	
3. アイドリングストップ		△	
4. 建設機械の過負荷防止		◎	
廃棄物排出量削減			
1. ゴミの分別(現場でも)実施	今永	◎	・引き続き分別徹底を維持する。
2. マニフェストにて適正に管理を行う		◎	
水使用量削減			
1. 節水に心掛ける	杉園	◎	・引き続き節水推進を維持する。
社会貢献への参加			
1. 地域活動に自主的に参加する	今永	◎	・引き続き全員が高い意識をもって清掃活動に取り組む。
2. 現場周辺の清掃活動を行う		◎	
グリーン購入の推進			
1. 再生資材を使用する(砕石等)	字室	◎	・再生砕石の使用は充分できた。 リサイクル製品を優先して購入する。
2. 再生資材で作られた製品の優先利用		◎	
環境配慮した機械の使用			
1. 排ガス適合基準の建設機械の使用	坪根	◎	・引き続き排ガス適合基準の建設機械の使用を推進する。
2. NETIS適合機械の使用		◎	

評価：◎十分出来た ○概ね出来た △やや不十分 ×出来なかった

別途、活動状況写真添付

環境活動計画の取組と評価

実施状況

電力消費量削減



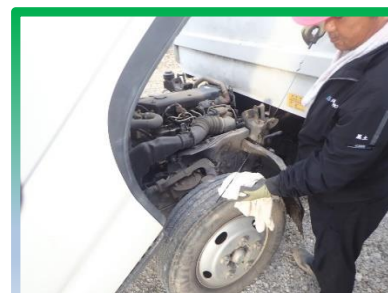
節電注意喚起



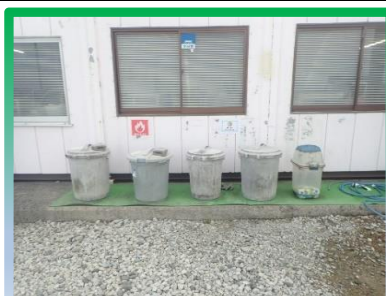
ガソリン、軽油消費量削減



始業前オイルチェック



廃棄物排出量削減



ゴミの分別

水使用量削減



地下水の使用

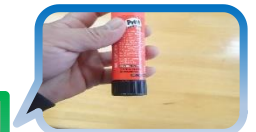
環境活動計画の取組と評価

実 施 状 況

社会貢献への参加



グリーン購入の推進



環境配慮した機械の使用



環境関連法規の遵守状況並びに違反訴訟の有無

令和6年 10月 11日

確認者：杉園啓介

摘要される法律等の名称	該当する事項	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物の保管基準	適
	産業廃棄物の委託基準	適
	特別管理産業廃棄物の保管基準	－
	産業廃棄物管理票	適
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	適
資源有効利用促進法	特定再利用業種	適
	指定副産物	適
建設リサイクル法	建設工事の事前届出	－
騒音規制法	特定建設作業の届出	－
振動規制法	特定建設作業の届出	－
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	公共工事の場合に適用	適
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定	公共工事の場合に適用	適
道路交通法	道路の使用の許可	適
道路法	道路の占用の許可	適
道路運送車両法	日常点検整備	適
	定期点検整備	適
	点検整備記録簿	適
水質汚濁防止法	特定施設の届出	－
消防法	第4類危険物の指定数量	適
	指定可燃物の届出	－

「－」：届出する案件が発生しなかった。

当事業所及び現場に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。過去3年間にわたり、関係機関及び近隣住民からの環境関連訴訟及び苦情に関して、1件も発生していません。

代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 環境目標達成状況について

① 二酸化炭素排出量の削減

- ・二酸化炭素排出量は、近年の物価上昇に伴う、ガソリンや軽油の原価高騰による消費量増加が懸念されましたが、上手く抑えることができ目標値を達成できました。今後も燃料の原価高騰が考えられるので、更なる活動に取り組んでいきたいと思います
- ・電力消費量削減については、温暖化によるエアコンの稼働が多かったため、目標値を達成できませんでした。今年は環境経営目標の更新の節目でもあるので、より一層気を引き締めて、目標値の達成維持、電気使用量の削減に努めていきたいと思います。

② 水使用量の削減

- ・事務所は戸掘りボーリングにて地下水を使用していますが、節水推進を維持できたと思います。
- 今後も重要な資源という意識をもち、節水活動に取り組んでいきたいと思います。

③ 廃棄物排出量の削減

- ・工事内容等により排出量が、今年は大幅に増加しましたが。処理については、適切な処理ができていたためリサイクル率100%を維持できました
- 今後も増減する事がある為、処理方法を再度徹底し削減に努めていきたいと思います。

④ グリーン購入の推進

- ・積極的な取組みが行われていましたが、まだ不十分ないところがありましたので、意識的に購入していくよう推進していきたいと思います。

⑤ 環境配慮した機械の使用

- ・各現場にて低騒音・低振動型の機械を使用し運転手も環境に配慮した使用ができていたと思います。
- ・今後も、慢心せず、更なる環境意識を高め継続的に取組みを行っていききたいと思います。

⑥ 社会貢献への参加

- ・全員が積極的に活動へ参加出来たと思います。今後も引き続き参加していきたいと思います。

(2) 総合評価

- ・前回の審査から電気の消費量を念頭に置いて活動を強化してきましたが、結果としては良い成果は得られませんでした。燃料等の使用量は抑えられたため目標値は達成できました。今年から環境経営目標値の更新という節目でもありますので今一度、会社の環境、作業現場での環境方針、目標、計画、法令、実施体制を見直し社内一丸となって活動に取り組み、経営目標値の達成に努めていきたいと思います